

兵庫県 のり漁場環境情報 (東播海域 5号)

2021年11月25日発行
 兵庫のり研究所

県下全域で大型珪藻コシノディスカスが発生しており、発生量は増加しています。そのため、窒素は大阪湾水の影響が見られる明石海峡部で概ね3 μg at/L台、陸水の影響により特異的に高い地点を除き、西寄りの風波直後の調査ということもあり、地先で1 μg at/L台、沖筋で1 μg at/L前後の値でした。

(水温) 漁場内平均17.6℃。平年より0.2℃低く、昨年より0.8℃低い。(塩分) 平均31.36psu。前回(31.28)より0.08psu高い。
 (栄養塩、珪藻) 各海域のコシノディスカス発生量(海水1Lあたり)は以下の通り。
 林崎漁場以西の地先で1500~2800細胞(前回値:1600~2000細胞)、沖筋で900~1300細胞程度(前回値:700~1000細胞前後)大阪湾水の影響が見られる明石海峡部で750細胞(前回値:400~650細胞)と増加していた。
 西播の伊保・白浜漁場では、地先で2600細胞(前回値:2100細胞)、沖筋で1800細胞(前回値:1100細胞)と増加していた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	18.9	17.6	17.8	18.4
窒素	2.7	1.5	7.0	3.0
リン	0.39	0.32	0.64	0.49

(11/15) ※窒素の平均は別府を除く

(11/26)

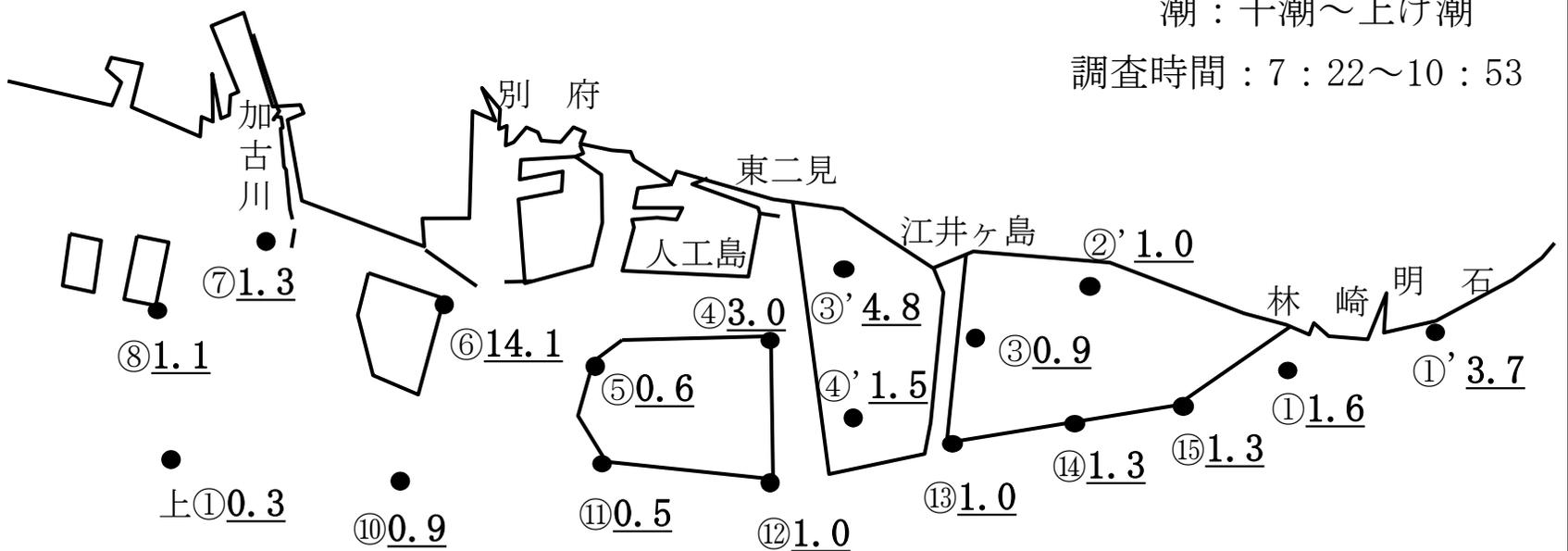
西播地先					
伊保地	水温	17.1℃	伊保沖	水温	17.1℃
	窒素	0.1		窒素	0.3
	リン	0.30		リン	0.77
白浜地	水温	17.0℃	白浜沖	水温	17.0℃
	窒素	0.3		窒素	0.3
	リン	0.37		リン	0.25

2021年11月25日調査

栄養塩(窒素) 図

潮：干潮～上げ潮

調査時間：7:22～10:53



水温図

